

秦莊・愛知川 合併講演会

【開催日、場所】

秦荘会場 平成 15 年 7 月 5 日 (土) ハーティーセンター秦荘 (大ホール)

愛知川会場 平成 15 年 7 月 12 日（土） 愛知川町中央公民館（大ホール）

【目 程】

19 時 15 分 ~ 開場（受付）

19 時 45 分～ 開会あいさつ 秦荘町・愛知川町合併研究会副会長 北川眞道
同 会 長 平元 真

20 時 00 分 ~ 講 演 京都橘女子大学文化政策学部 教授 織田直文 氏
(手話通訳: 社会福祉法人 滋賀県聴覚障害者福祉協会)

21 時 10 分～ 閉会あいさつ 秦荘町・愛知川町合併研究会副会長 上田太治
同 副会長 森 隆一

【講演テーマ】 将来のまちづくりと合併を考える ～今、なぜ小規模合併か～

【講演の要旨】

まちづくりの主体が、行政から住民組織、ボランティア、NPO などへと変化してきたことにより、行政と住民組織等とのパートナーシップが大変重要になりつつある。

これからの行政には、行政にしかできない専門性の高い政策形成・立案能力が求められており、国や県に頼る時代でなくなってきた。

そこで、秦荘町・愛知川町の両町は財政面で危機的な状況ではないが、新しい時代の行政のあり方や住民自治への支援を考えると、市町村合併という手法は有効な手段であり、検討する価値がある。

また、合併の効果や懸念事項は現状で判断するのではなく、地域の将来を見据えた検討やビジョンが必要である。

このようなことから合併の議論は、将来のまちづくりを考えていく上で最も重要なことである。

【講師】京都橘女子大学文化政策学部 教授 織田直文氏

1952 年金沢市生まれ。1976 年福井大学工学部建設工学科卒業。

(株)積水ハウス、(株)COM 計画研究所などを経て、1980 年 4 月に(財)滋賀総合研究所に入所。地方シンクタンクマン・地域プランナーとしてまちづくりや地域政策研究に従事。

現在、京都橘女子大学教授。京都大学博士（工学）。滋賀県立大学非常勤講師。

ひと・まちネット滋賀幹事。

1993 年(平成 5 年)2 月、「秦荘町まちづくりシンポジウム」コーディネーター。

1999 年（平成 11 年）12 月～2001 年（平成 13 年）8 月まで、愛知川町第 3 次総合計画審議会会長。

【主催】秦荘町・愛知川町合併研究会、秦荘町、愛知川町